

7月3日のウクライナ情報

安斎育郎

①米、一部兵器の供給停止と報道 対ウクライナ、在庫減少で(2025年7月2日)

【ワシントン共同】米ニュースサイト、ポリティコは1日、米国防総省がロシアの侵攻を受けるウクライナに対し、一部の対空ミサイルや精密誘導弾の供給を停止したと報じた。米国の在庫が急激に減少していることを受けた措置という。第2次トランプ政権下では、ウクライナへの防衛支援を弱める動きが相次いで伝えられている。

対象のミサイルと誘導弾は、バイデン前政権下で提供が決まっていた。

ヘグセス国防長官は6月、下院歳出委員会の国防小委員会で、ウクライナへの軍事支援を2026会計年度(25年10月～26年9月)予算で削減する考えを示していた。

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f795bb26928bab11ca3592f0fb24e7bc1db5a6da>

②ロシア情報機関トップ、米CIA長官と「今後いつでも電話」で合(ロイター編集、2025年6月30日)

【モスクワ 29日 ロイター】 - ロシアの情報機関である対外情報局(SVR)のナルイシキン長官は、米中央情報局(CIA)のラトクリフ長官と電話会談し、共通の関心事について今後いつでも協議することで合意した。ロシア国営テレビのパベル・ザルビン記者に語った内容が29日公開された。

ナルイシキン氏は「互いにいつでも電話し、われわれが関心を持つ問題について話し合う可能性を確保した」と語った。

ロシアメディアによると、ナルイシキン氏がラトクリフ氏と電話で協議するのは今年3月以来という。



<https://jp.reuters.com/world/ukraine/PSTK4Q2JH5MXTOOFM6PVLDWW3Q-2025-06-30/>

③ ウクライナ戦争の本当の始まりは 2014 年のマイダン革命(2025年7月1日)

6月29日に THE CORE FORUM 2025 夏 TOKYO が開催されました。

そのなかでのニコライ・ノズドリェフ駐日ロシア大使の注目発言の一部を切り抜いて YouTube で公開いたします。

<https://youtu.be/eFT6-FGWbz4>

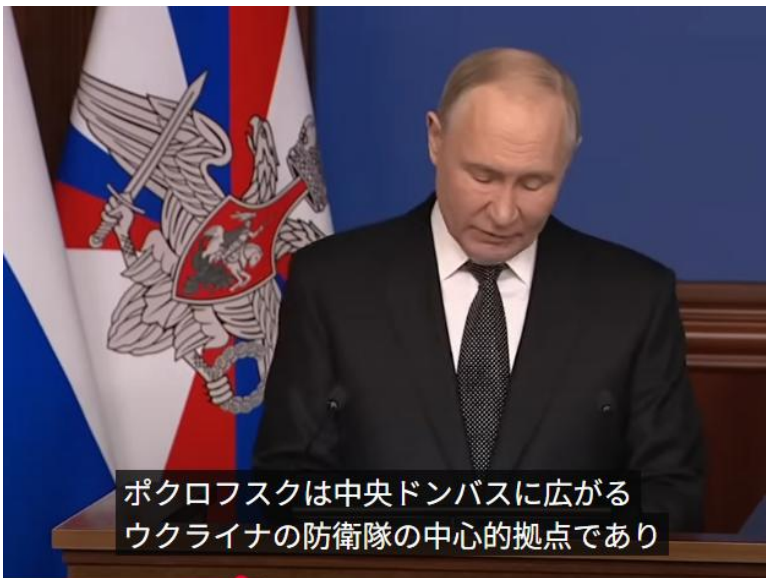


<https://www.youtube.com/watch?v=eFT6-FGWbz4>

④ ポクロフスク周辺でロシア軍が怒濤の進軍！（2025年7月1日）

ロシアが制裁回避の石油タンカーを軍艦で護衛し始め、ポクロフスクでは包囲戦が激化。陸海での戦略が急速に進展中。「VOICEVOX Nemo」

<https://youtu.be/ow7wtG9dhCM>



<https://www.youtube.com/watch?v=ow7wtG9dhCM>

⑤ ウクライナ兵士が戦争の暗い真実を明かす（2025年7月1日）

真実を隠し切れなくなった時、何が起こるのか？

かつて最前線に忠誠を誓っていたウクライナ兵士が、沈黙を破り、ウクライナ戦争の背後にある暗い真実を暴き出す。強制動員や残酷な命令、最前線での衝撃的な告白など、メディアが報じることのない紛争の知られざる一面を明かす。

兵士たちが使い捨ての肉のように扱われ、捕虜がどのように扱われたのか、そしてゼレンスキー大統領とウクライナの指導者について彼が本音を語る。

両方の立場を聞くべきだと考えるなら、このインタビューは見逃せない。

<https://youtu.be/FgQIGJridE0>



<https://www.youtube.com/watch?v=FgQIGJridE0>

⑥ウクライナロシア戦争最新戦況！ロシア軍シヴェルスクを襲撃「ポクロフスク防衛線が限界に追い込まれる」(2025年6月30日)

<https://youtu.be/tTzoD3mWTws>



<https://www.youtube.com/watch?v=tTzoD3mWTws>

⑦スコット・リッター:ポクロフスクでウクライナの血が流れる - NATO の装備も彼らと共に消滅、送られたものは全て失われた！(2025年7月1日)

この衝撃的な分析で、スコット・リッターはポクロフスクで実際に何が起こったのかを分析する。ウクライナの精鋭部隊が血を流し、NATO の最新鋭軍事装備が破壊されつつある最前線だ。

拠点となるはずだった場所は墓場と化した。

ミサイル攻撃からドローンの失敗、包囲から補給基地の破壊まで、リッターはロシアが単なる攻撃にとどまらず、NATO の代理戦略の基盤を崩壊させたことを明らかにする。ポクロフスクは最後の幻想だった。今、そこにあるのは血と炎と瓦礫だけだ。

🔗 ウクライナの精鋭旅団が孤立した理由

🔗 NATO のシステムはどのような展開を見せ、失われたのか

🔗 ロシアの計画的な進撃が西側諸国の兵站体制をいかに壊滅させたのか

🔗 この崩壊が戦争の次の局面に何を意味するのか

これは単なる敗北ではない。完全な戦略的崩壊だ。

<https://youtu.be/4f7baslAQP4>



<https://www.youtube.com/watch?v=4f7baslAQP4>

⑧ウクライナ人はロシア語を話す人を防空壕に入れない！ザハロワ(ロシア、2025年7月1日)

https://youtu.be/oj1fT_tNlGE



ウクライナでは、ロシア語に対する闘いが新たな段階に達しています！

最新のブリーフィングで、ロシア外務省のマリア・ザハロワ代表は、ウクライナ紛争とイラン・イスラエル紛争をめぐる情勢について語りました。

<https://www.youtube.com/watch?v=oj1fT tNlGE>

⑨ベンジャミン・アベロウ:西側がウクライナ戦争を招いた理由(2025年6月30日)

※安齋注:1時間以上の映像ですから、飛ばし読みして下さい。

ベンジャミン・アベロウは、核政策のアナリスト、著者、ロビイストです。アベロウは自身の著書『How the West Brought War to Ukraine(いかにして西側がウクライナに戦争をもたらしたか)』について語ります。

<https://youtu.be/71hC8hgna38>



<https://www.youtube.com/watch?v=71hC8hgna38>

⑩プーチンは500発以上のミサイルとドローンでウクライナを攻撃、NATOは航空機を緊急発進させた(2025年6月30日)

<https://youtu.be/L0Xo-YPkKck>



ウクライナの当局者が日曜日に語ったところによると、ロシアは一夜にしてウクライナに対して最大

規模の航空攻撃を開始した。ウクライナ空軍によれば、ロシアは 477 機の無人機とおとり、60 発のミサイルを含む合計 537 発の航空兵器をウクライナに向けて発射した。そのうち 249 発は撃墜され、226 発は電子的に妨害された可能性が高く、失われた。

<https://www.youtube.com/watch?v=L0Xo-YPkKCk>